

# ガスコンロの使用、 ヒヤリとしたことは ありませんか？

調査\*によると、**74.4%**の方が、  
事故につながるおそれのある、  
**うっかりミス・危ない使い方の経験**  
があると回答しました。

ガスコンロを原因とした火災は、安全装置の  
付いたガス器具の普及などにより減少傾向  
にありますが、住宅火災の出火原因としては  
依然としてもっとも多くなっています。

\*東京都生活文化局「ガスコンロの安全な使用に関する調査」より



## 事故を防ぐために日頃からこんなところに注意してください



**調理中は絶対にその場を離れない！**

離れるときは**必ず火を消してください。**

**ガスコンロとそのまわりはいつもきれいに！**

コンロのまわりには**燃えやすいものを置かない**でください。  
また、グリル庫内は**燃えやすい脂汚れ**がたまるため、**こまめに掃除**してください。

**見えない炎に注意！**

強火で使用している場合は、**鋼の上部などでも繊維(着衣等)に着火**することがあります。炎が見えなくても注意しましょう。

**使っていないガス栓は絶対に開けない！**

使用していない(ガス器具に接続されていない)ガス栓を**間違えて開けて**しまうと、**重大な事故**につながります。

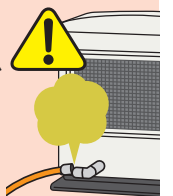
### 自宅の工事の際にも注意を！

外壁の清掃・塗装工事などを行う際、養生のためガス器具をビニール等で覆う場合があります。そのまま使用すると異常着火や火災事故、CO(一酸化炭素)中毒の原因になります。



### ガス器具の設置時は十分に確認を！

中古などのガス器具を自分で設置する際は、接続ミスがないよう説明書等でしっかり確認してください。接続方法がわからない、また使用中に異常がある場合は、すぐにメーカー又はガス器具販売店へ連絡しましょう。



## 安全機能の充実した最新器具への「安心替え」をおすすめします

ガスコンロに搭載されている「Siセンサー」(調理油過熱防止装置・立ち消え安全装置・消し忘れ消火機能)をはじめ、最新のガス器具には事故を未然に防ぐさまざまな**安全機能**が付いています。長期間使用しているガス器具は、不具合がなくても最新器具への**「安心替え」**をおすすめします。

